



# 稲沢ロータリークラブ週報

承認日：昭和38年（1963年）12月6日 会長：横井定／副会長：加藤健司  
 例会日：毎週水曜日 12：30～13：30 幹事：川合正剛／編集：広報会報委員会  
 例会場：尾張大國霊神社（国府宮） E-mail [rcinazawa@gmail.com](mailto:rcinazawa@gmail.com)  
 稲沢市国府宮一丁目1番1号 URL <http://www.inazawa-rc.org/>  
 事務所：〒492-8213 稲沢市高御堂1-2-1（林商事ビル1階）  
 電話：0587-24-0740 FAX：0587-22-7213 事務局携帯電話 090-4853-5262



2016-17 RI会長  
ジョージ・シヤム



稲沢 RC2016-17 年度会長方針  
 楽しんで活動に参加しましょう  
 そして MyROTARIAN になりましょう

## 本日の例会プログラム 第2582回例会 11月9日（水）

例会場：尾張大國霊神社 クラブ・アッセンブリー（地区大会報告）

第2回役員選考指名委員会（13：30）

IAC例会（17：00）

### 第2581回例会報告 10月26日（水）晴れ No.14

☆点 鐘 ☆	会長 横井 定
☆司 会 ☆	会場委員 山脇敏夫
☆唱 和 ☆	四つのテスト
☆ビジター ☆	中村隆文君（尾張中央 RC）他2名
☆会長挨拶 ☆	会長 横井 定



皆様今日は、今日はロータリー財団の地区補助金を活用してのAED寄贈式です。先ずお客様のご紹介です。稲沢市教育委員会教育長の恒川武久様と教育部長の遠藤秀樹様です。恒川様には後程卓話をお願い致します。

そして、尾張中央 RC からご訪問頂きました。会長の中村隆文様と幹事の松尾晋吉様です。又一宮 RC から足立誠様です。本日はごゆっくり楽しんで頂ければと思います。

さて、今月は経済と地域社会の発展、そして9月のロータリーの友と同様日本独自に新設された米山記念奨学会が月間テーマとなっています。今日は後者についてお話しさせていただきます。

敗戦後の復興が続く1952年、日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブによって「米山基金」が設立されました。米山梅吉氏が生前東南アジアに深い関心を持っていたことから、ロータリー財団の国際奨学制度に模して、アジア諸国から奨学生を招致しようというのが基金設立の目的でした。米山

記念奨学金の創設の目的は、日本が再び戦争の過ちを繰り返さない誓いと、世界に「平和日本」の理解を促すことにありました。留学生が平和を求める日本人と出会い、互いに信頼し合う関係を築き「世界の架け橋」となることを願ってつくられたのでした。外国からの留学生を「受け入れる」米山記念奨学制度と自国の若者を留学生として外国へ「送り出す」ロータリー財団の奨学制度とは、日本のロータリーにとっては、相互補完の役割を持つ車の両輪というべき意義を持っています。ロータリーの奨学金は、返済義務がありません。今奨学金返済による自己破産がある中、大きな違いがあります。又、米山奨学制度には奨学金による経済的な支援だけではなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカンセラー制度による、心の通った支援があります。精神的な面で心強く実感して頂けるのではないかと思います。皆様方から、ロータリー財団の奨学金・米山奨学金を毎年ご支援頂いています。これからも引き続いてのお願いを申し上げまして、会長挨拶に代えさせていただきます。

### ～Today's Information～ ◆◆報告事項◆◆ ◇◇幹事報告◇◇ 幹事：川合正剛

#### ◆蔚山江南 RC 歓迎晩餐会の件

11月25日から2泊3日で蔚山江南 RC のメンバーとご家族25名が訪日されます。理事会承認前ですが、下記の通り歓迎晩餐会を開催する予定です。ぜひご出席ください

日時：11月25日金曜日 18：00

場所：ウェスティンナゴヤキャッスル 青雲の間

会費：会員 5,000円 ご家族 5,000円

### ★出席報告★ 報告者：会員組織委員長 永井伸治

会員総数	49名	前々回修正	10月5日
出席	32名	出席	37名
会員数	(内免除者 8名)	会員数	(内免除者 7名)
欠席者数	17名	メークアップ数	2名
	(内免除者 3名)		
出席率	69.56%	修正出席率	86.67%

### ☆例会臨時変更通知☆

クラブ名	月/日(曜日)時間	メークアップ会場
尾西	11/14(月)12:30	尾西信用金庫
名古屋城北	11/15(火)	受付なし
一宮中央	11/16(水)18:00	一宮商工会議所
一宮	11/17(木)12:30	一宮商工会議所

今週のメークアップ 足立三千夫 (IAC) 鶴飼正巳 (D2760)

### ☆例会日程☆

11月16日(水)12:30	11月23日(水)	11月30日(水)12:30	12月3日(土)18:00
幸福例会・会員表彰 第5回理事会 (13:30) IAC例会(17:00) 例会場：稲沢商工会議所	祝日 (例会取消)	第29回海外派遣研修報告 報告者：IAC 矢田絢渡君 柴田珠里さん 担当：青少年奉仕委員会	クリスマス家族会 ウェスティンナゴヤキャッスル 受付17:00 点鐘18:00



## ◇ ◇ ニコボックス報告 ◇ ◇

報告者：ニコボックス委員 伊藤正弘

中村隆文君（尾張中央 RC） 尾張中央ローグクラブ 会長中村  
です。本日はメキップに訪問させて頂きます

松尾晋吉君（尾張中央 RC） 本年度の尾張中央 RC 幹事の  
松尾です。本日はよろしくお願ひします。

足立誠君（一宮 RC） 11月の学園90周年にて横井会長にお  
世話になります喜びで。

横井 尾張中央 RC 会長 中村隆文様、幹事 松尾晋吉  
様ようこそお越しくださいました

川合、成田 尾張中央 RC 中村会長、松尾幹事をお迎えして

山脇 大野市長さんのご冥福をお祈りして

横井 稲沢市教育委員会教育長恒川武久様、本日は卓話  
でお世話になります

横井 教育部長 遠藤秀樹様 本日はよろしくお願ひ  
致します。

加藤（健）、川合、林茂夫、永井 恒川教育長、遠藤教育部長  
をお迎えした喜び

服部孝根 恒川教育長、心より歓迎します

山名 恒川教育長先生をお迎えした喜び

山脇 恒川教育長をスピーチにお迎えする喜び

足立 恒川教育長をお迎えした喜び

横井 秋の家族会、ワールドフットふれ愛フェスタご参加ありが  
とうございました

吉川 秋の家族会、多数の御出席ありがとうございました。  
12月のクリスマス家族会も宜しくお願ひ致します。

西村 ワールドフットフェスタ、横井会長始め皆様ありがとうございました

伊藤（強） 孫の七五三国府宮詣で山脇宮司さんにお世話に  
なりました

西村 山脇様にお世話になりました

山脇、山田（典） 写真を頂いて

岡田 家族会欠席のお詫び

林茂夫 ホームクラブ長期欠席のお詫び

### ◇卓話：稲沢市教育委員会 教育長 恒川武久様◇

#### 「教育の現状と課題—今、教育に求められているもの—」

紹介者：社会奉仕委員長 三根健一

##### 1 教育界の動き

教育界は、教育委員会制度の改正、そして、  
道徳の教科化、小学校に英語教育の導入等、  
慌ただしい動きがみられる。「教師の資質能  
力の向上」「アクティブ・ラーニングの確立」「ICTの  
活用」などが提唱され、制度や理念・方法を巡る改革が一  
体的に進められている。これらの新たな課題を巡り、様々  
な議論がなされているところであるが、新しい時代に必要  
となる資質・能力の育成の上で、「何を学ぶか」、「どのよ  
うに学ぶか」、「何ができるようになるか」が授業改善の視  
点として重要である。

##### 2 教育の現状

###### （1）教員の勤務実態

OECD「国際教員指導環境調査」（2013年）にて、教員の  
仕事が1週間当たり53.9時間と発表され、大きく問題と  
して浮かび上がってきた。文部科学省も教職員の業務の適  
正化を図るよう求めているところであるが、もともと教育  
に関わる仕事は、これで十分だというものがなく、「子ども  
をより高めたい、伸ばしたい」との教師の強い思いがあり、  
時間を度外視し、取り組む傾向がある。しかし、多忙  
化問題は看過できない状況にあるのは事実である。

###### （2）学力について

[平成28年度全国学力・学習状況調査の結果]が9月29  
日に公表された。マスの論調を見ると①各県とも全般的に

改善傾向がみられる。上位と下位の差が小さくなり、地  
域差がなくなった。②秋田・福井・石川・富山など、上  
位県の固定化が続いている。③論理的な説明力に課題が  
ある。④主体的学びの効果がでていて、アクティブ・ラーニング  
を積極的に取り組んでいる学校は学力が高い傾向にあ  
る。

何よりも、できている点、足りない点を把握し、今後  
の指導に生かすことが重要であり、順位で一喜一憂して  
はいけない。テストの結果は、学力の一部、教育活動の一  
側面だと考えるが、真摯に受け止め、その対策に尽力し  
ていなくてはと認識している。

一事例で、「秋田で！」、「答えはすぐに言わない」と  
ことん考える探求型」の実践の学ぶべき点を紹介する。

もう一つの問題として浮かび上がっているのは、広がる  
子どもの学力格差と貧困である。平成25年国民生活  
基礎調査（厚生労働省）によれば、子どもの貧困率（相  
対的貧困率）が15.8%（6人に1人）という。この貧困率  
の高さは、一人親世帯において顕著でこの世帯の子ども  
に限ると54.6%にも上っている点である。

幼少期から少年期にかけて貧困家庭で過ごした子ど  
もは大人になってからも貧困から抜け出すのが困難だ  
と言われているが、家庭が貧困であるというだけで、本  
来は高い可能性をもっているはずの子どもが、出発点か  
らバゲを背負いかねないことは憂慮すべきことである。

##### （3）子どもの実態

最近の子どもたちは叱られたことがあまりないこと  
から、叱られ弱い実態が見えてきている。「ほめて育て  
る」手法が定着しつつあるのだろうか。「叱られる力」  
について 阿川佐和子氏が著書に書いている。多くの日  
本人がいくつになっても、大人になった自覚に欠けてい  
る。「自分を傷つけない」、また、「上手な叱り方と  
上手な叱られ方を忘れてしまっている」と述べ、警鐘を  
発している。

次に、「小4のか」についてである。

学校の授業が終わった後、児童クラブや児童館で過ごす  
システム、学童保育がある。対象児童が、概ね10歳未  
満とされていたから、1年から3年までであった。しか  
し、児童福祉法が改正されて、昨年4月から小6までに  
拡大された。学校教育にも「小4のか」が存在する。  
授業のバリエーションの変化に伴って現れるかです。克服する難  
しさはあるが、21世紀をたくましく生きていく子どもた  
ちを育てるために手を尽くさねばと考える。

##### （4）保護者対応

保護者とのトラブル増加については、様々な要因があり、  
教員や学校に起因することもあるが、保護者の意識の変  
化が大きいと考える。2000年代前半から、「学校は教育  
サービスの提供機関であり、私たちはサービスの受益者だ」と  
いう意識の芽生えが出てきた。サービス内容、即ち授業や  
生徒指導などにおける教師の力量や態度が悪ければ、文  
句を言うのは当たり前という考えが根付いてきたよう  
に思える。学校はサービスの提供者、保護者はサービスを受け  
る側と、分けるのは抵抗があり問題だと考える。保護者と  
教師は共に子どもを育てていくパートナーの関係である  
べきである。

3 最後に、現在大リーグ マイアマーリズに所属で活躍して  
いるイチー選手の言葉から「びっくりするような好プレイ  
が、勝ちに結びつくことは少ないです。確実にこなさない  
といけなプレイを確実にこなせるチームは強いと思いま  
す。」当たりのことを着実に指導し、積み重ねることが  
確かな学力の形成と豊かな心の育成につながることに  
刻んでいる。